

尿管結石による腎盂腎炎敗血症ショックに対し エンドトキシン吸着療法が著効した1例

みつ い よう ぞう あん じき はる き いの うえ けい た
 三 井 要 造 安 食 春 輝 井 上 圭 太
 こ ばら ち あき あり ち なお こ ひら おか たけ お
 小 原 千 明 有 地 直 子 平 岡 毅 郎
 す むら まさ ひろ ほん だ さとし やす もと ひろ あき
 洲 村 正 裕 本 田 聡 安 本 博 晃
 しい な ひろ あき い がわ みき お
 椎 名 浩 昭 井 川 幹 夫

キーワード：エンドトキシン吸着，敗血症性ショック，腎盂腎炎

要 旨

症例は66歳，女性。2010年12月に右側腹部痛を主訴に近医を受診し，右尿管結石による水腎症と診断された。鎮痛剤投与で疼痛は消失したため帰宅したが，翌日39度の発熱を認め急性腎盂腎炎の診断で当院へ紹介となり緊急入院した。採血検査で腎機能障害と播種性血管内凝固症候群（DIC）を認め，抗生剤および低分子ヘパリンを投与し腎瘻造設を行ったが，直後に敗血症性ショックを来たした。DIC に対する治療と塩酸ドパミン投与を継続したが，改善傾向が見られなかったためエンドトキシン吸着療法（PMX-DHP）を施行した。血圧はPMX-DHP 開始直後より上昇し，塩酸ドパミンの減量が可能となった。以後全身状態は速やかに改善し，第11病日に退院した。

緒 言 症 例

敗血症ショックは集学的治療を要する重篤な疾患であり，泌尿器科疾患が契機となることも少なくない。今回われわれは，エンドトキシン吸着療法（PMX-DHP: polymyxin-B-direct hemoperfusion）によって病状が急速に改善した1例を経験したので，文献的考察を加え報告する。

症例：66歳，女性
 主訴：右側腹部痛
 既往歴：特記事項なし
 現病歴：2010年12月に右側腹部痛を主訴に近医を受診し，右尿管結石による水腎症と診断された。疼痛は鎮痛剤で消失し，感染徴候を認めず経過観察となった。翌日39度の発熱と尿量低下を認めたため再度受診し，急性腎盂腎炎の診断で当院紹介後緊急入院した。